



議会だより

# こうみ

第1回臨時議会号

平成27年5月29日発行

No.128



鷹野雄之助新議長の下新たな体制となった小海町議会

新議長・新副議長あいさつ ②

各委員長あいさつ ③

町議会行政視察レポート ④

こんなことが決まりました・編集後記 ⑥

きかせて あなたたちの夢

あなたたちの未来に寄り添うまちに

# 新議会人事決まる



副議長 土橋勝一  
副議長就任あいさつ

この度、臨時議会において小海町議会副議長に就任することになりました。責任の重さを理解し、議長の良き補佐役として、議会の皆様、町民の皆様のご指導、ご協力を頂きながら頑張りますので、よろしくお願い致します。又、議会だより「こうみ」の編集委員長も兼ねています。より良い議会だよりを目指しておりますので、アドバイス、ご意見をお寄せ下さい。



議長 鷹野雄之助  
議長就任あいさつ

この度の臨時議会において議員の皆様のご支援を頂き、小海町議長に選出されました。もとより浅学非才の身にその重責を痛感致しております。議会の使命として町民の目線に立って、公平公正に務めると共に首長の行政運営に対し是々非々の立場を堅持しつつ、人口減少、自治体消滅問題、若者定住対策等、今後町が乗り越えて行くべき課題は山積しており、共に力を合わせ対処して行かなければなりません。議会改革を推進し、その権威を高め、活力ある議会運営に努めて参る所存であります。町民の皆様のご指導、ご支援をお願い致しまして議長就任のごあいさつと致します。

平成27年第1回臨時議会が4月30日開催され、財産取得2件が審議された後、申し合わせにより正副議長の選挙が行われました。新議長には議員の投票により鷹野雄之助氏（八那池）、新副議長には指名推選により土橋勝一氏（本村）がそれぞれ選出されました。また、各常任委員の選任、佐久広域連合・一部事務組合議会議員の選出、各審議会等の委員の選任などが行われました。

## 総務産業常任委員会

委員長あいさつ 篠原 義従

この度、総務産業常任委員長の職に就くことになりました。

議員一期目の若輩者ではありますが、諸先輩方々のご指導を頂きながら、小海町及び小海町議会高揚のため全身全霊をかけて、与えられた職務を全うする所存であります。

町民の皆様にはご理解を頂き、更にご支援、ご協力をお願いし、就任のあいさつとさせていただきます。



委員長	篠原 義従
副委員長	有坂 辰六
委員	井出 薫
委員	鷹野雄之助
委員	篠原 恒一
委員	新津 孝徳

## 民生文教常任委員会

委員長あいさつ 的埜美香子

国の社会保障制度見直しにより、国保・年金・介護・医療等々住民への負担は増え、暮らしは益々大変になってきています。そして教育や保育制度までもが大きく変わろうとしているこの時期に、町民の暮らしの問題に直結する民生文教常任委員会の役割に益々重責を感じています。委員の皆さんのご協力を頂きながら頑張ります。



委員長	的埜美香子
副委員長	篠原 憲雄
委員	佐藤二三雄
委員	土橋 勝一
委員	鷹野弥洲年
委員	篠原 伸男

## 議会運営委員会

委員長あいさつ 井出 薫

この度の臨時議会で新体制が決定され、議会運営委員長に選任されました。

憲法と地方自治法に則り、過ちのない議会運営となるよう、委員の皆さんとよく相談し進めてまいります。

また、「議会活動の改革・町議会の活動を住民の皆さんによく知っていただく・など」、提案型の議会運営委員会となるよう活発な議論を進めてまいりたいと思っております。

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



委員長	井出 薫
副委員長	新津 孝徳
委員	土橋 勝一
委員	鷹野弥洲年



# 町議会行政視察レポート

## 茨城県大洗町「友好都市協定締結に伴う両町議会議員交流・意見交換」報告

### 有坂 辰六議員

昨年8月に新井町長が、大洗町で放射線量測定及び放射線医療関連機器の製造販売を行っている(株)千代田テクノルの会長で大洗町大使でもあります細田氏と知り合いました。そして10月に新井町長が大洗町を訪れ、視察や意見の交換が行われました。12月には大洗町の小谷町長が小海町を訪れ、友好都市協定に向けた協議がなされ、今年の2月26日に小海町において両町の議会議員も同席し、小海町町制施行約60年で国内では初めてとなる、友好都市協定が締結されました。今回は、その際到大洗町からの要請による両町の交流と意見交換を目的とした視察でした。

大洗町の人口は小海町の約4倍で一万八千人、面積は小海町の5分の1で東西2.5km南北9km、標高36mの非常に面積は小さな町です。大洗町は、東日本大震災による津波で、庁舎1階が水没するという甚大な被害に見舞われました。しかし、死者、行方不明者を一人も出さないという危機管理対策は高く評価されました。小海町も昨年2月に100年に一度といわれる雪害に見舞われました。

今回の提携では、両町の災害対策支援協力に関する覚書も調印されました。今は、大洗海岸も穏やかで小海より小学生が海水浴やビーチキャンプ、そして大洗からはスケート、ワカサギ釣りにとの交流が始まり、家族やお友達と行くなら全国でもトップクラスの大洗水族館、ゴルフが好きな方なら一度はプレーしてみたいという大洗ゴルフ倶楽部、食については、名物のアンコウ鍋、シラスや岩がき等の海産物、かねふくの工場直売による明太子と、年代や季節を問わず楽しめる町であります。

今後、両町が人的交流、農産物・海産物による物的交流、地方創生等による行政での交流等、様々な交流によりお互いの町がこれからの親交を深めて、永くお付き合い出来ますことを確認した今回の視察と意見交換でした。

大洗町へは、高速道路で結ばれていまして、途中でゆっくり休みながら4時間位で着きます。これから先、両町の町民の皆さんによる交流が盛んに行われ、小海町にとって有意義な提携であることを期待致します。



大洗町議会議員と活発な意見交換が行われました

## 茨城県大洗町「(株)千代田テクノル」視察報告

篠原 憲雄議員

4月20日、21日にかけて議員、町長他職員総勢17名にて、大洗町の表敬訪問、(株)千代田テクノルの視察研修をして来ました。

(株)千代田テクノルは1956年千代田レントゲン(株)、現富士フィルムメデイカルで(株)技術部としてフィルムバッジによる外部個人被ばく線量測定に関する研究開発事業、その後放射線防護用品の製造販売並びにフィルムバッジ業務の維持を目的として様々な事業の拡大、展開をして現在に至っています。多様で多彩な放射線と放射性同位体を安全かつ有効に利用する研究に取り組み社会貢献、躍進している優秀な企業です。

会社沿革ビデオ上映後2班に分かれてガラスバッジ製造工場内にホコリを嫌う職場のためにそれぞれの履物にナイロン製カバーを着、頭にも頭巾をかぶり担当者より現場説明を受けました。

コンピュータ化された製造工程により組み立てられ、ガラスバッジにガラスリングをあらかじめガ

ラス装着、ケースにラスプレートなどの検出子が装填され、2012年には、年間4千万個製造が達成され、全国に発送されました。

「ガラスバッジとは、X線装置、MRI、原発などの業務従事者は、個人被ばく線量の測定及びその結果の記録、保管が各種法令などにより定められており、ガラスバッジを体に装着し被ばく線量を測定するものです。」

人に被ばく放射線を受けさせない事を基本理念にガラスバッジによるモニタリングサービスを全国に業務展開し、ガラスバッジを各利用者に発送し、利用者が被ばく放射線量を測定した後回収し、放射線量の測定、被ばく線量報告書データの作成、各事業者に報告事業の推進、世界唯一の測定システム業務、医



従業員の方からガラスバッジの放射線量の測定について説明を受けました

療、工業放射線安全推進事業を展開している従業員452人の時代の流れに乗った企業です。  
この様な優秀な企業が小海町に誘致出来れば人口減少に歯止めがかかるのではないかと感じたところであります。

# こんなことが決まりました

## 監査委員

佐藤 二三雄

## 佐久広域連合議会

鷹野 雄之助

## 小海町北相木村南相木村 中学校組合議会

鷹野 雄之助

井出 薫

土橋 勝一

的 埜 美香子

新 津 孝 徳

篠 原 伸 男

有 坂 辰 六

## 南佐久環境衛生組合議会

篠原 恒一

篠原 憲雄

篠原 義従

## 財産の取得

◆ふるさと学習定着事業により小海小学校にタブレット型パソコン35台を指名競争入札の結果（有）わたやより2,300万4千円で取得したものです。

全員賛成で可決

◆10月に開館予定の（仮称）北牧学習館の図書情報管理システム一式を指名競争入札の結果アネックス・インフォメーション（株）より1,098万9千円で取得したものです。

全員賛成で可決

## 編集後記

議会の申し合わせにより各委員会の編成が変わりました。編集委員は、後記の通りです。ゴールデンウィーク中、真夏を思わせる天気が続いておりました。桜の開花も早く、山菜も一週間以上早く収穫期間も短かったです。

雨の少ない小海町の年間雨量は、約一千mmです。雨の少ない時、多い時を合計すると年間ではだいたい同じになります。一年間の内どこかで集中豪雨が起るかもしれません。

地震、雷、火事、おやじ、おやじの順位は、もっと下がっていますが、これから夏に向けて大雨に対する注意が必要ではないでしょうか？

二年間よろしく願います。

（編集委員長 土橋 勝一）

編集責任者 鷹野雄之助

編集委員長 土橋 勝一

編集委員 井出 薫

編集委員 新津 孝徳

編集委員 鷹野弥洲年

